
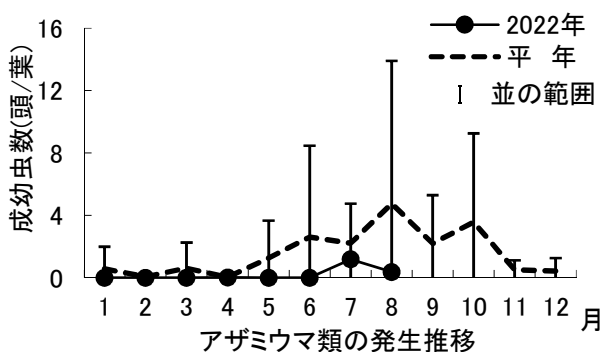


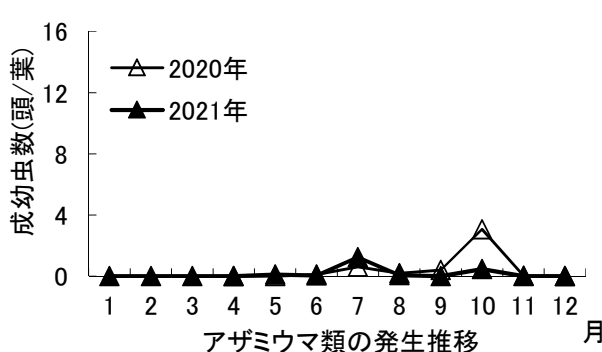
作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	並	
予報	8 月からの増減傾向	↓	
	9 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果

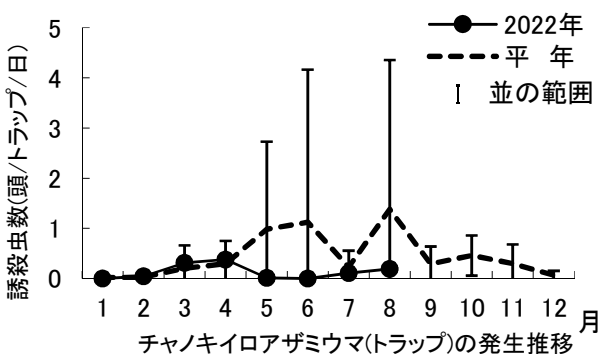
見取り調査：今期と平年の推移



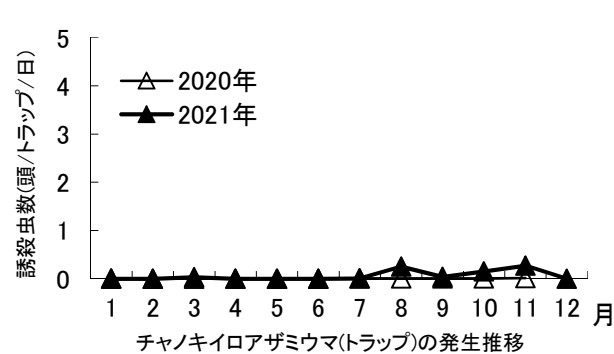
見取り調査：過去2年の推移



トラップ調査：今期と平年の推移



トラップ調査：過去2年の推移




・発生施設率80.0% (平年：73.5%)

防除のポイント

- ・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
- ・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
- ・収穫期に発生が多かった施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

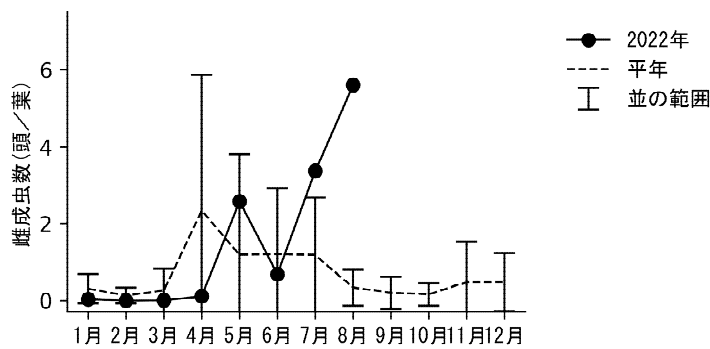


ナガエコミカンソウ

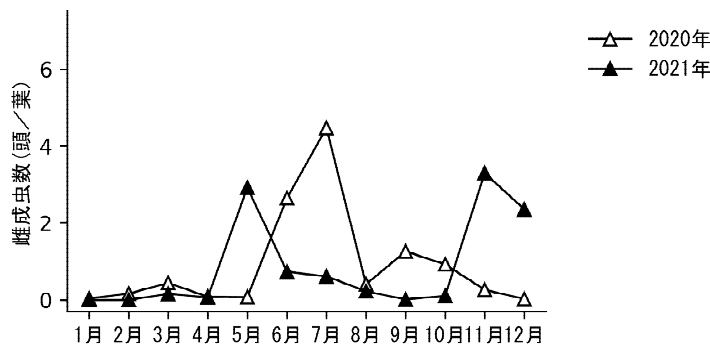
作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	② ハダニ類		 <p>シュレイツメハダニ</p>
調査結果	8 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	8 月からの増減傾向	→	
	9 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

ハダニ類の今期と平年の発生推移



ハダニ類の過去2年の発生推移



・発生施設率60.0% (平年 : 32.7%)

防除のポイント

- ・晩秋にかけて発生が多くなるので、発生ほ場では早期発見・防除を行う。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状



マンゴーツメハダニ